



主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

# 第3回 いわたまちづくりワークショップ

## 報告

### 1 ワークショップの概要

（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会が主催となって、第3回 いわたまちづくりワークショップを開催しました。

ワークショップには、中学生、高校生、大学生、子育て世代のパパママ、働きざかりの方々など、幅広い世代の皆さんに、主催者である条例策定検討委員が加わり、今回はあわせて45名が参加。

第3回は、「市民参加の意識を広げる」、「今回の関わりこそが“市民自治”と感じる」が目標でした。「対話を重ねることの必要性を考えよう！」をテーマに、これからの磐田市を描くワークを通して、互いのイメージを共有しながら、対話の重要性をはじめみんなで関われること（協働）を考えてもらうことで、今回の多くの人との関わりを次に広げるとともに、少しの参加の必要性や楽しみを自分ごととして感じてもらいました。

開催日時：令和5年1月26日（木）19時～21時

開催会場：磐田市総合健康福祉会館 i プラザ 2階ふれあい交流室

参加対象者：応募者46名（うち男性27名・女性19名）

委員10名（うち男性7名・女性3名）

### 2 ワークショップの流れ

- 参加者を10グループ（1グループ5名程度）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（MUSUBI代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 磐田市市民活動センターのセンター長（条例策定検討委員）からの情報提供  
「磐田市市民活動センターの役割」～活動、対話の重要性、ワークショップへの思い～
- 自己紹介
- 話し合い「(ワークテーマ：これからの磐田市を描こう!)」
- 発表
- まとめ

### 3 ワークショップの様子





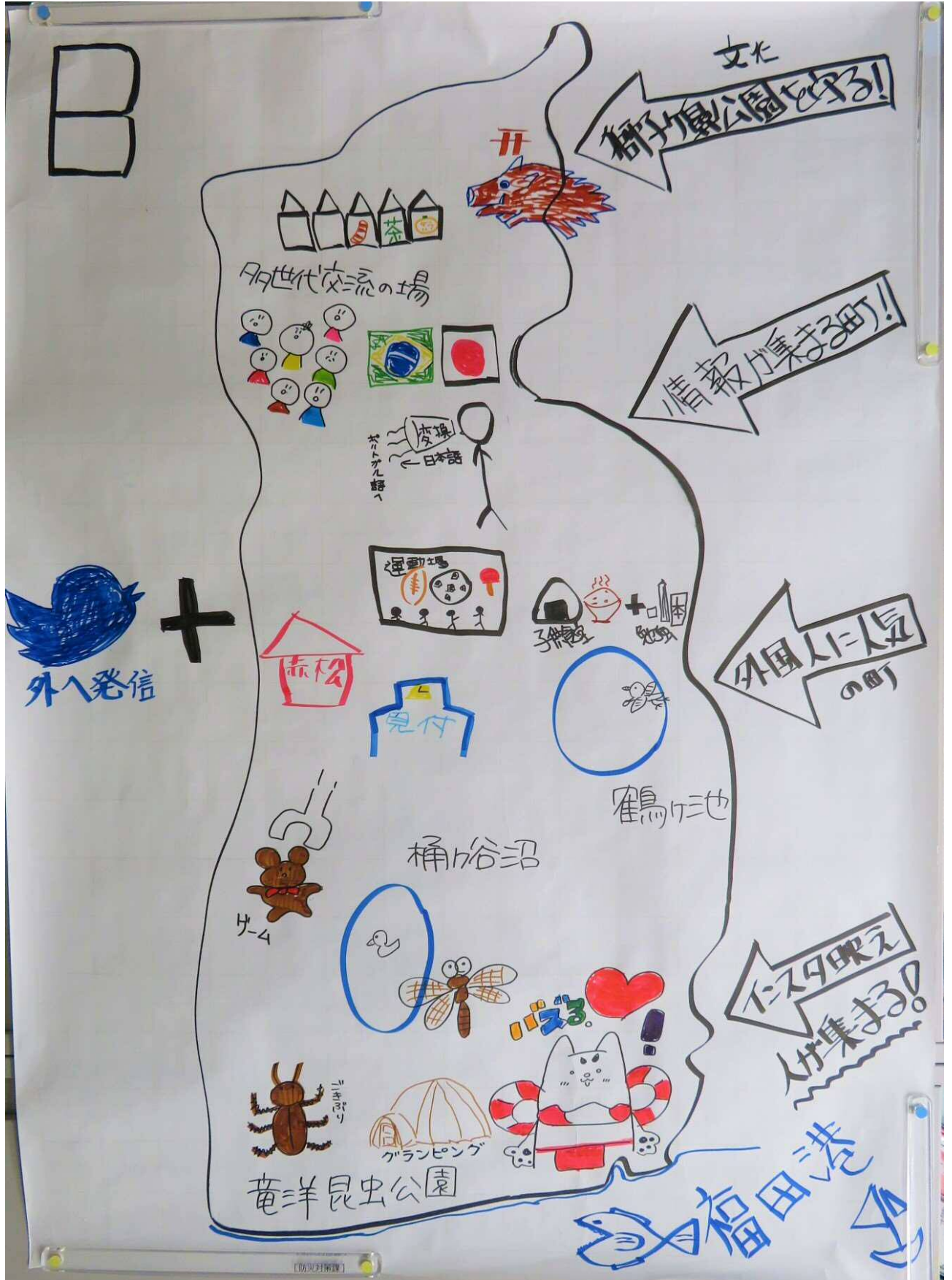
以降、グループの模造紙

A

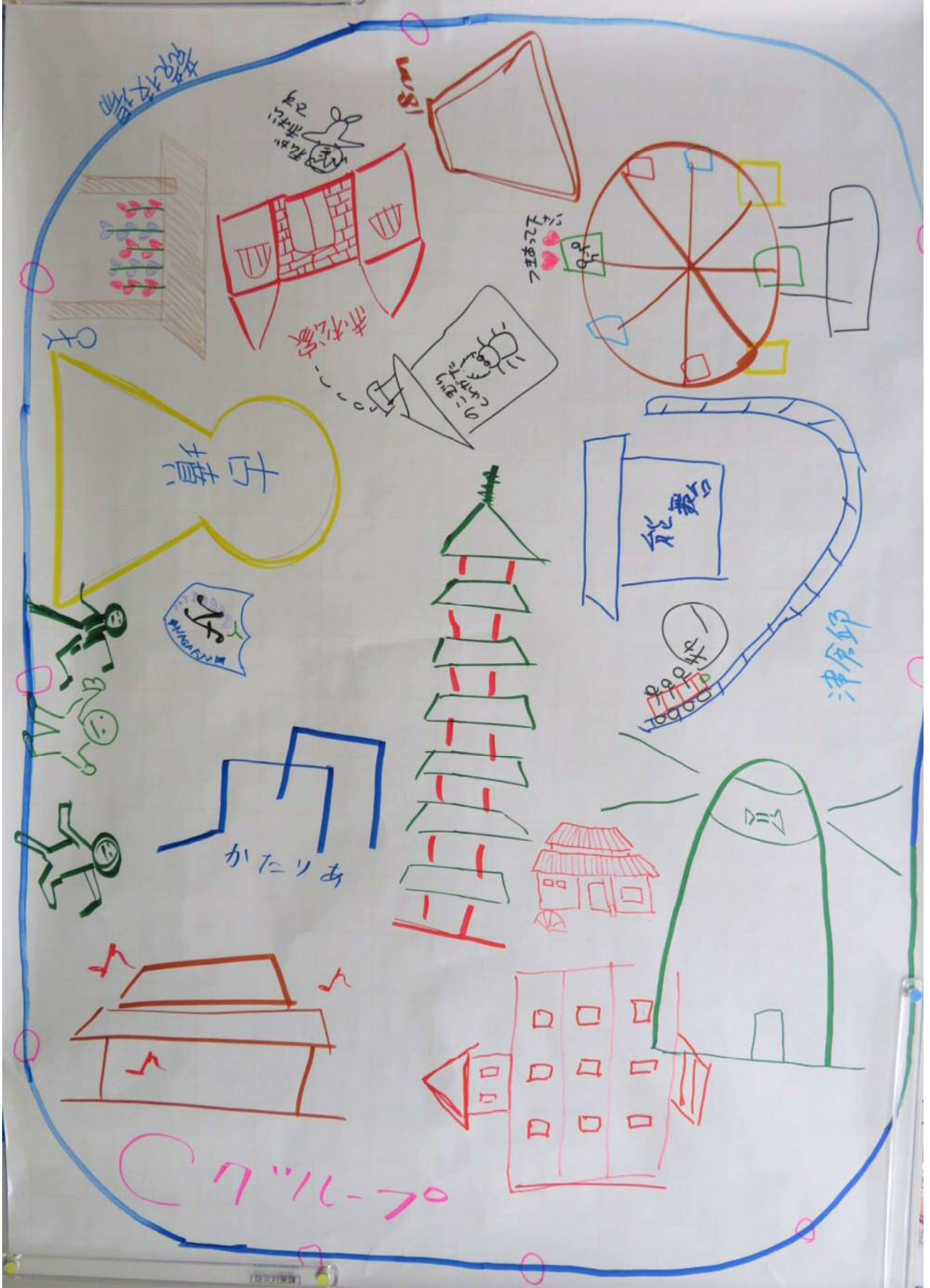
The poster is divided into two main sections. The top section is for the 'Iwata City Children's Museum' (磐田市児童館). It features a drawing of a cat's face in the top left. The title '磐田市児童館' is written in large blue characters. Below it, '対話場 (A)' is circled in green. To the right is a diagram of a building with arrows indicating directions: '児童館' (Children's Museum), '児童館' (Children's Museum), '児童館' (Children's Museum), and '児童館' (Children's Museum). Below the building are drawings of a swing set and a circular table with chairs. To the left of the building, there is text: '商店街で' (In the shopping street), 'キラ一度品' (Kirayodo items), '移動' (Moving), '月-マーケット' (Monthly market), and '地域の交流場' (Community exchange place) with a small truck icon. At the bottom left of this section are drawings of two shops labeled '商店' (Shop) and a building labeled '映画会館' (Cinema hall).

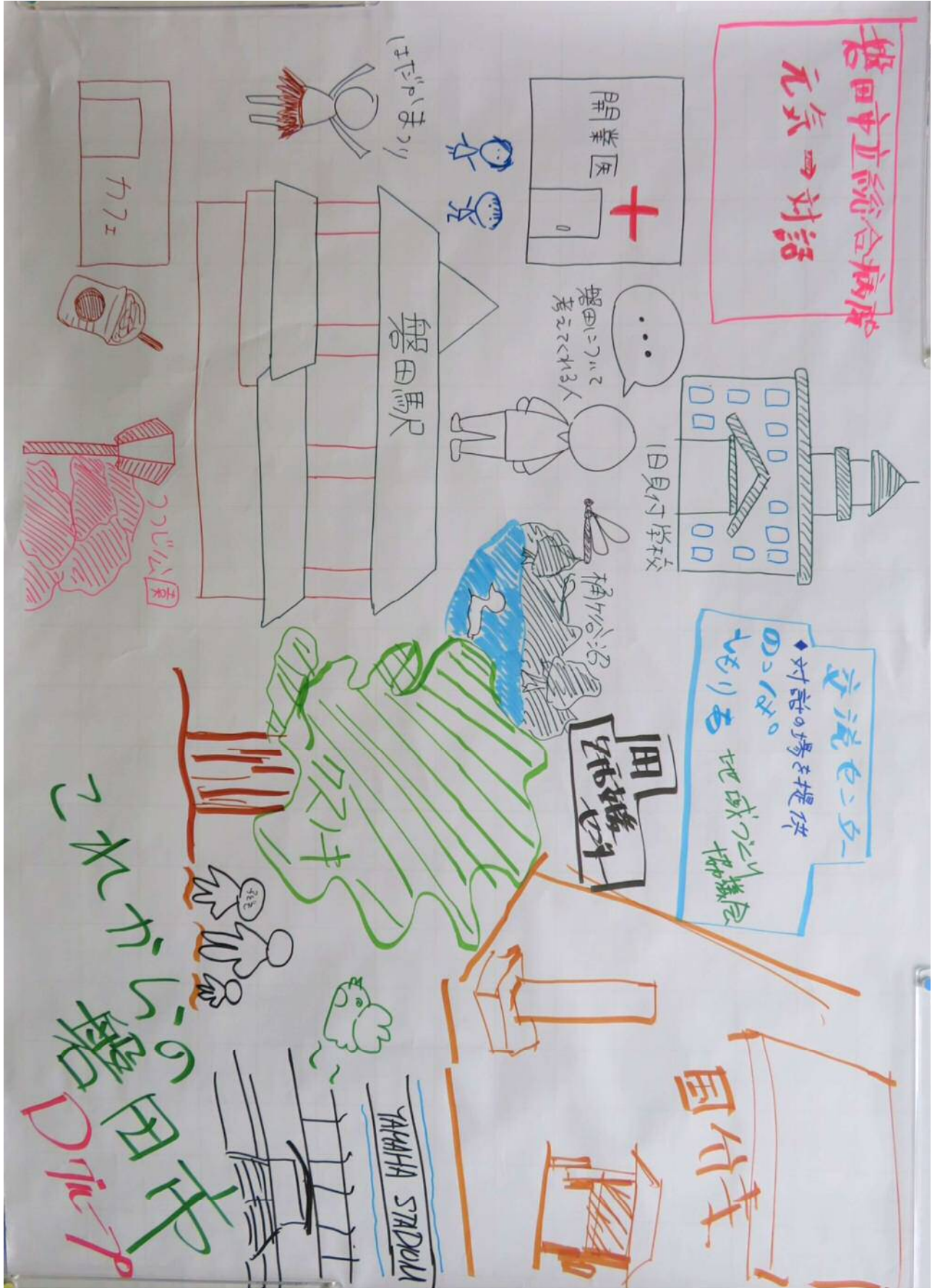
The bottom section is for 'Guest House' (ゲストハウス). The title 'ゲストハウス' is written in blue, with '見付宿の復活' (Revival of Miyama-ryu) circled in red below it. Underneath is the word '文化' (Culture). To the left, there is a drawing of a house with two people inside. A speech bubble above says 'し、ぱい伝説、7知、73?' (Shi, pai legend, 7 know, 73?). A sign on the house says '見付天神' (Miyama Tenjin). Below the house is the word '交流' (Exchange). To the right, there is a drawing of a person sitting in a chair, with some scribbled text above it.

B



C

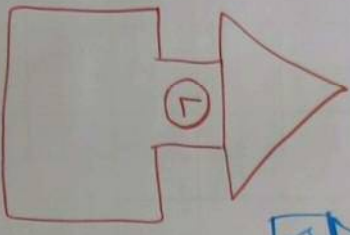
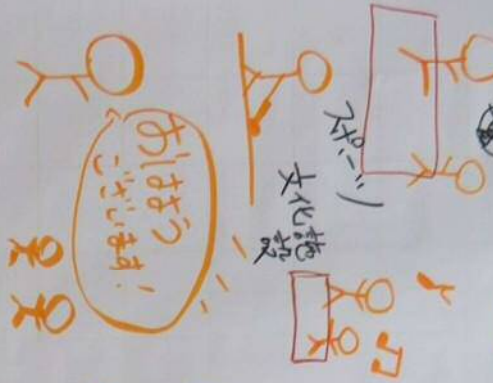






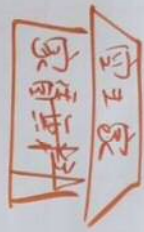


② 町内会「集約化」

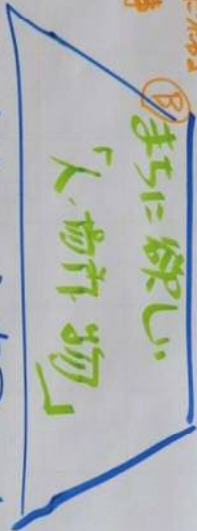


老若男女が

気軽に身近に集まる 集田。



③ まちを創る



おはようから  
 まちを創る  
 合意の  
 相互に  
 相違を  
 調整  
 しながら  
 進める

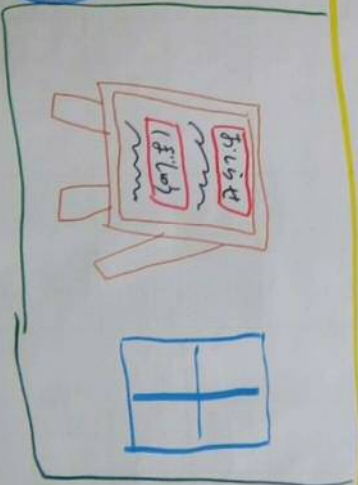
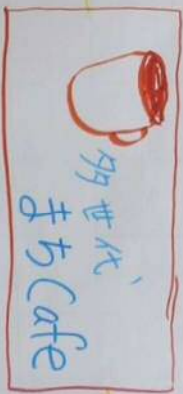
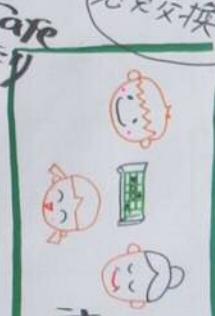
～ 進捗前



F 集まる

④ まちに欲しい 「対話の場」

意見交換 情報交換



# チターダ

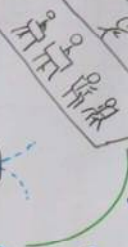
水草の型



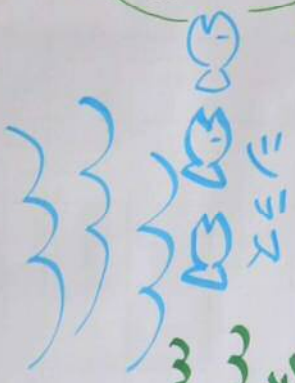
水と空の境



自然を  
まもる!



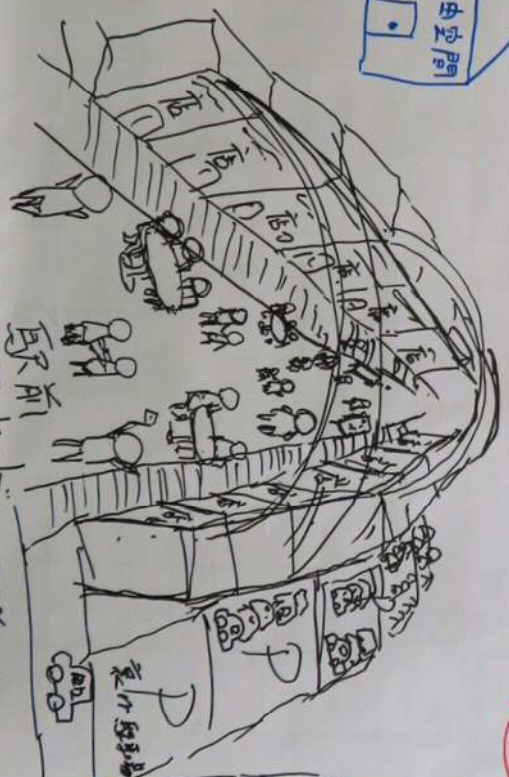
学生と地域集約型  
+ (自由+対話)  
+ 地域の人と集約型  
+ 地域の人と交流



ミミズ

茶

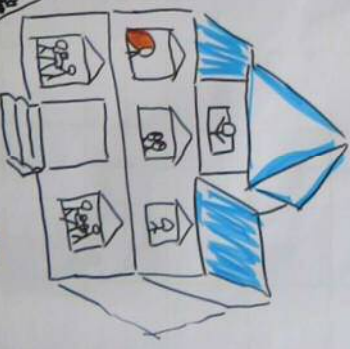
地球温暖化



駅前

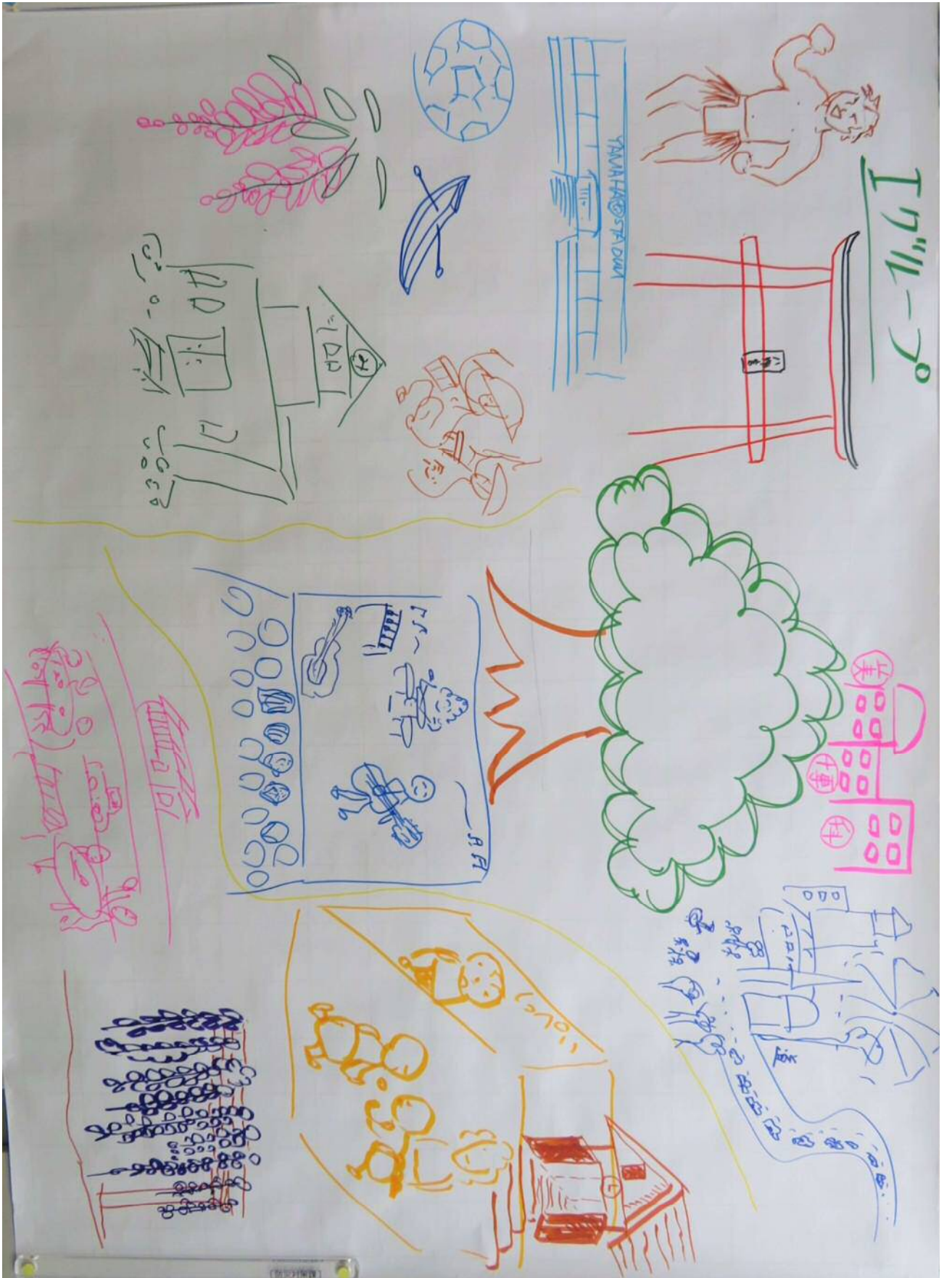
駅~平校所へ

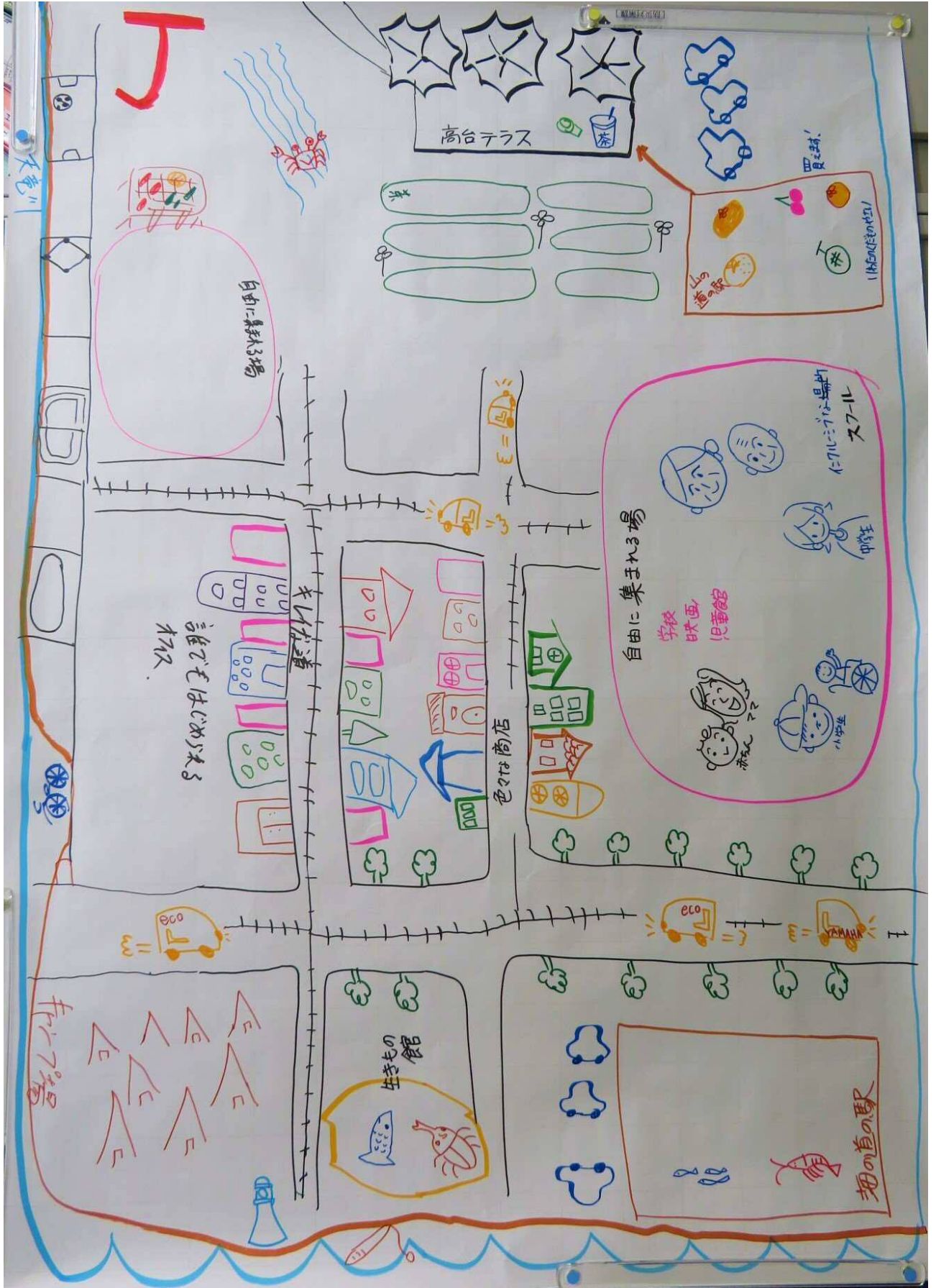
駅~おきりみ



歴史遺産の有効活用  
+ 歴史遺産(有形無形)







## 4 今後について

ワークショップを通じて、まちづくり条例や自分の住んでいる磐田市の現状を知り、市民自治や協働などについて学んでもらいました。また、大切なことは、“自分たちのまちを自分たちで考えること”、“補完し合う関係性”、“対話の積み重ね”であって、まちづくりとはその日だけの成果物ではないことを感じてもらいました。

この3回のワークショップを踏まえて、令和5年3月20日（月）13時30分から第9回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会を開催します。委員からはこのワークショップでの経験や学びをもう一步先に進めてみたいとの意見も出ており、令和6年4月の条例改正に向けて、進め方や条例素案のまとめ方などについて検討をしていく予定です。

事務局：磐田市地域デザイン推進室

